

2022年3月教養学部卒業予定者の「卒業論文題目届」の提出について

学科・分科等	届出用紙の配付期間 (土日・祝日等の 閉室日を除く)	配付場所	卒業論文題目届提出期間(土 日・祝日等の 閉室日を除く)	提出場所	注意事項
教養学科 超域文化科学分科	11月2日(火) ～ 19日(金)	後期課程チームのホーム ページに掲載する登 録フォームによる	11月2日(火) ～ 19日(金)16:30 まで	後期課程チームのホーム ページに掲載する登 録フォームによる	学生は、フォームによる論文題目の登録を行う際には、事前 にコース主任の許可をメールなどで得ておくこと。
教養学科 地域文化研究分科					
教養学科 国際日本研究コース	11月2日(火) ～19日(金)	教務課国際化推進チーム のホームページに掲載す る登録フォームによる	11月2日(火) ～19日(金) 16:30 まで	教務課国際化推進チームの ホームページに掲載する登 録フォームによる	
教養学科 総合社会科学分科	学科の指示に従うこと。				
学際科学科 総合情報学コース 広域システムコース	学科の指示に従うこと。				
学際科学科 地理・空間コース	コースの指示に従うこと。				
学際科学科 科学技術論コース	11月2日(火) ～ 19日(金)	後期課程チームのホーム ページに掲載する登 録フォームによる	11月2日(火) ～ 19日(金)16:30 まで	後期課程チームのホーム ページに掲載する登 録フォームによる	学生は、フォームによる論文題目の登録を行う際には、事前 にコース主任の許可をメールなどで得ておくこと。
学際科学科 国際環境学コース	コースの指示に従うこと。				

※卒業論文を提出するには、「卒業論文題目届」を上記期間に登録していなければならない(統合自然科学科を除く)。

令和3年10月19日修正 (令和3年10月11日掲示)

教務課後期課程チーム

2022年3月教養学部卒業予定者の「卒業論文」の提出について

学科・分科等	提出期間 (土日・祝日等の閉室日を除く)	提出場所	提出形式等
教養学科 超域文化科学分科	2022年1月7日(金)～1月17日(月) ※受付時間(1月7日(金)～1月13日(木)) 10:00～12:30, 13:30～16:00 ※受付時間(1月14日(金)) 10:00～12:30 ※受付時間(1月17日(月)) 10:00～12:30, 13:30～15:00 ※最終日(1月17日)の受付は 15:00 まで【厳守】	教務課後期課程チーム窓口 (アドミ二棟4番窓口)	提出部数, 使用言語, 体裁, 要旨の有無等は, 各コースの指示に従ってください。 ただし, 表紙には次の4項目を必ず記入してください。 (1) 卒業論文の主題 (2) コース名 (3) 学生証番号 (4) 氏名
教養学科 地域文化研究分科			
教養学科 総合社会科学分科			
教養学科 国際日本研究コース		コースの指示に従い、 ITC-LMS および所定の Google Drive にアップロード director[at]jea.c.u-tokyo.ac.jp にメールを送り、提出した旨を連絡	詳細はコースの指示に従うこと。
学際科学科 科学技術論コース 地理・空間コース 総合情報学コース 広域システムコース	2021年1月7日(金)～1月13日(木) ※最終日の受付は 16:00 まで【厳守】	学科の指示に従うこと。	詳細は学科の指示に従うこと。
学際科学科 国際環境学コース	2022年1月17日(月)～1月21日(金) ※最終日の受付は 15:00 まで【厳守】	ITC-LMS にアップロード コースの指示に従うこと。	詳細はコースの指示に従うこと。
統合自然科学科	2022年2月1日(火)～2月10日(木)正午 ※最終日の受付は 12:00 まで【厳守】	TC-LMS にアップロード	詳細は学科の指示に従うこと。

- ※1. 卒業論文を提出するには、卒業論文題目届を指定の期間に提出していなければならない(統合自然科学科を除く)。
 2. 「卒業論文」の提出の際の注意事項をよく読み、提出時間に遅れないよう注意すること。
 3. 教養学部については、郵送での提出を妨げない。(別紙の注意事項を参照すること)

令和3年10月19日修正(令和3年10月11日掲示)

教務課後期課程チーム

「卒業論文」提出の際の注意事項

卒業論文の提出は、期日・時間を厳守しなければならない。(必ず学科等で指示された提出形式等を整えたうえで、提出すること。)

特段の理由がない限り、提出時限に遅れた論文は受理しない。

ただし、論文を提出できる形式で完成していたにもかかわらず、本人の責任ではない突発事故により提出が遅れた場合には、受理されることがある。

この場合には、論文提出者は、できるだけすみやかにコース主任に連絡をとり、論文と提出遅延理由書をコースに提出すること。

提出遅延理由書には、遅れの具体的状況を記し、本人に責任がなく起こった不測の事態であったことを述べ、その証明を付することが望ましい。

後期運営委員会において理由書を審議の上、当該論文の受理を認めることがある。ちなみに、上記の理由書による受理がなされるのは、きわめて例外的な場合のみであり、たとえば次のような理由による提出遅延は認められない(本人の責任範囲とする。)ので十分注意すること。

- コンピューターやプリンターの故障などにより印刷が間に合わなかった。
- 製本を依頼したが、意外に時間を要した。
- 交通機関の(通常生ずる範囲の)遅延により間に合わなかった。

〔留意事項〕

卒業論文を提出するには、卒業論文題目届を指定の期間に提出していなければならない(統合自然科学科を除く)。

〔郵送での提出について〕 (教養学科)

「郵送方法」簡易書留あるいはレターパック等記録が追跡できる方法で送ること。

宛先：〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学教養学部等教務課後期課程チーム

※郵送の場合は最終日15時まで必着のこと。受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、特段の理由がない限り受理しないので注意すること。

※卒業論文題目届から題目を変更している場合は、コース主任の承諾を示すメールを添付すること。